# 蒲公英

Dandelion　たんぽぽ

2011・7・20

第 85 号

社団法人　川越市歯科医師会

# 目　　次


＜反芻＞　備えあれば…　…… 松本　利吏（3）
各委員長紹介 …… 総　　務　戸部　敏男（4）
厚　　生　会田　知晴（4）
学術研究　齋藤　正史（4）
公衆衛生　井上　和也（5）
学校歯科保健　前田勇治郎（5）
社保研究　木下　信之（5）
健康推進　山内　明善（6）
広　　報　中村　吉宏（6）

平成23年度　定時総会 …… 小川　俊夫（6）
2011 歯の衛生週間行事…… 井上　和也（8）
定例会だより…… 2月 井上　和也（13）
6月 齋藤　正史（15）
表彰コーナー……（15）
田中喬先生のご逝去を悼む …… 岩崎　昌司（16）
岩崎　孝之（16）
川越市健康づくり支援課と合同での研修会 …… 岩田　夏彦（17）
ワイルドギース奮戦記 …… 小野　　俊（18）
川越市障害者歯科協力医の会より活動案内のお知らせ
…… 山内　明善・望月　　司（20）
編集後記 …… 中村　吉宏（20）


表紙写真　＜夏の扉＞

Ayana Resort and Spa
（バリ島、旧リッツカールトン バリ オーシャンフロント ヴィラ）
ニコンF3

北川　　純 撮影

## 保健推進委員会

山内　明善

岩崎会長のもと、在宅訪問委員会から、健康推進委員会と呼称が改められ、それに伴い、業務が大幅に増えました。対応に苦慮して居りましたが、此処にきて、三権分立の構想をいただき、それに従いまして、委員会として会務に協力していく所存です。皆様の御手伝い、御協力を宜しく御願い致します。

その内容は、むし歯予防は岩田先生、障害者歯科は望月先生、介護予防は山内と云うことになりました。若い先生、新入会の先生も、お気軽に参加して戴きたいと思います。

重ねて、よろしくお願いいたします。

## 広報委員会

中村　吉宏

広報を任されて１年が経ち、歯科医師会の活動が市民と会員にどのようなサービスを提供し、役割を担っているのかようやく理解することができました。

日常的な連絡事項は事務局よりファックスで知らされておりますが、会報である蒲公英の役割とは総会、定例会、旅行、各同好会の活動状況を、参加することのできなかった会員の先生方に周知することと考えております。

今後は皆様のご意見や、ご要望、趣味、娯楽等を掲載して、会員同士の親睦を誌面上で深めて行きたいと思います。どうか御協力よろしくお願いします。また、ホームページでもIT委員会と連携して、対内的にも対外的にも蒲公英と同様の情報を提供する予定です。

# 平成23年度　定時総会

83名が出席

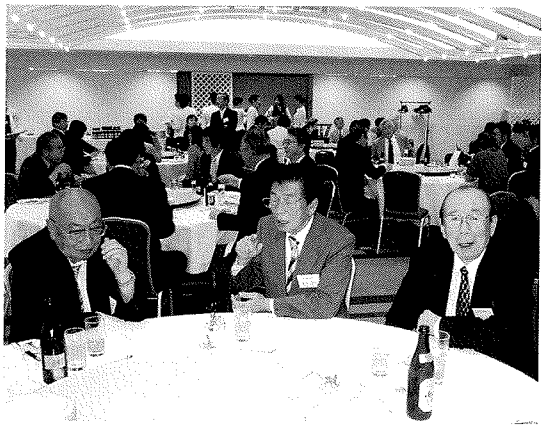
本年も(社)川越市歯科医師会定時総会が、川越東武ホテルにて開催されました。例年ですと、４月の第三土曜日の開催となるところですが、東日本大震災、さらにそれに伴った計画停電の影響で約１ヵ月遅れの開催となりました。また、日曜日の開催となりましたが、出席者83名（委任状42名）と例年並みの出席者となりました。総会に先立ち、先の震災の犠牲者、昨年度逝去された本会会員、林健一郎先生、田中喬先生に哀悼の意を込めて、黙祷を行い続いて総会に移りました。

議題としては22年度事業報告、歳入歳出決算の承認、終身会員の承認、23年度事業計画、歳入歳出予算案の承認と順調に議決されました。

また、協議題として新法人への移行について、新法人移行検討委員会の大塚陽一委員長からの説明に皆さん真剣に耳を傾けているようでした。

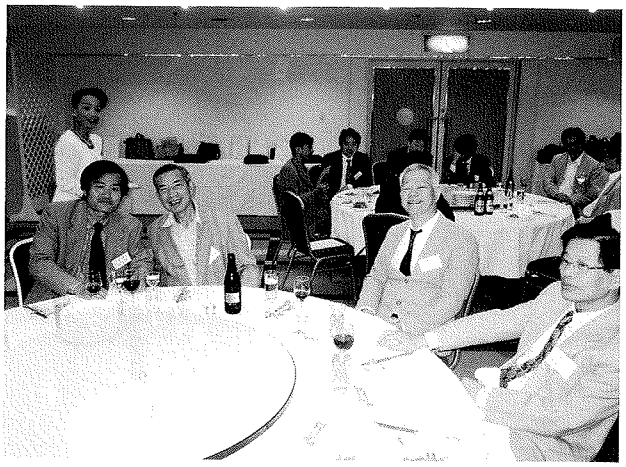
総会に引き続き、同ホテルにおいて懇親会が行われました。来賓として、川越市長 川合善明様、教育委員会教育長 新井孝次様、福祉部長 小川倫勝様、保健医療部長 水野典子様の出席を賜り、翌日が月曜日とは思えないほど、盛り上がっていました。

（小川　俊夫　記）



和やかにご歓談

橋本副会長閉会の辞



# 2011 の衛生週間行事

## 歯ッピーフェスティバル2011

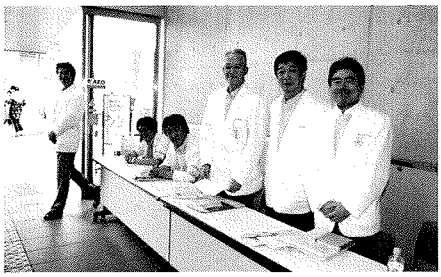
先日2011年6月5日（日）に川越市歯の衛生週間行事である「歯ッピーフェスティバル2011」が総合保健センターで開催されました。

今年のフェスティバルは例年の状況とは一変していたと感じずにはいられませんでした。なぜなら皆様もご承知のように3月11日に発生した東日本大震災のためです。この地震により東日本はおろか日本全国でいろいろなことが起こりました。

その時期から物資の不足、電力の不足、各種イベントの中止、延期、被災地に対する支援、節電、節水、そしていまだ解決の目処も立たない原発事故など皆様の生活を脅かす事件が多く発生しました。

正直このような状況でこのフェスティバルを開催することが妥当であるか？可能であるか？など震災から間もない頃には三役の皆様と色々協議しました。やがて少しずつ復興が始まり自粛ムードであった日本にも積極的な動きが見られ各種イベントも開催され始めました。そんな中この歯ッピーフェスティバルも開催されることとなりました。しかし今回のフェスティバルに協賛していただける企業は当初数社しか得られず、市民の方にお渡しできるものもなかなか集まりにくい状況でした。

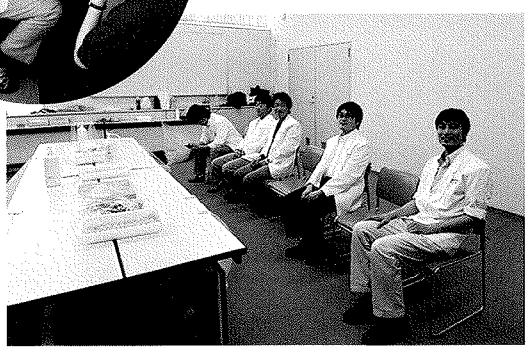
開会式



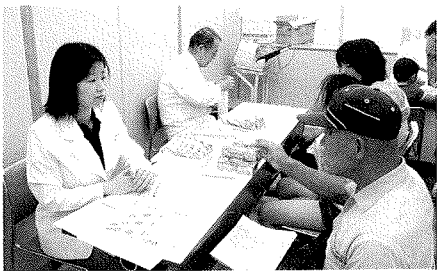
受付

口臭チェック

RDテスト



フッ素塗布



カミカミチェック

頭を悩ませていたとき会員の先生からまた、その他企業のご協力を多数得られることができ、前日には何とか例年にも引けを取らないほどの協賛品が集まり歯ッピーフェスティバルを迎えることができました。

当日は各団体、川越市職員、歯科医師会会員の皆様のご協力もあり事故なく災害にも見舞われず、無事に終わることができました。

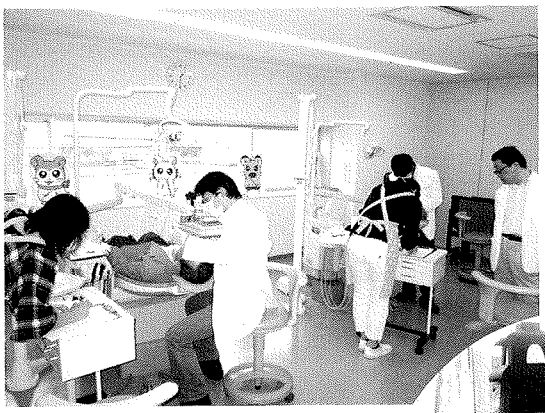
今年は残念なことに少し来場者の数は減少し、1200名ほどでした。しかしアンケートの結果、ほとんどの来場者の方々が満足したとの内容をいただきましたので大変身のある内容の濃いフェスティバル2011だったのではないかと思います。

また今年の反省を活かし、より良い歯ッピーフェスティバルを来年も開催できればと考えます。

そして、震災があったにせよ今年、色々と委員の皆さんや会員皆様に準備の段階からご迷惑をおかけしてしまい申し訳なく思います。来年の歯ッピーフェスティバルはまた今まで以上に盛況になるよう準備していきたいと思います。

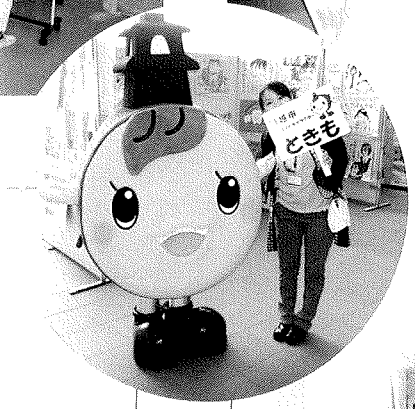
最後に、このフェスティバルにご協力してくださいました全ての皆さんに感謝いたします。

（井上　和也　記）



コンクールの診査

相談コーナー




ポスター展

表彰式

細菌検査

# 川越歯科衛生士会

6月5日日曜日、歯ッピーフェスティバルが今年も開催されました。今回初めて参加させていただき、私自身とても良い経験をさせていただきました。3月11日、東北地方太平洋沖地震にみまわれ自粛モードの中、1100名もの来場者をお迎えすることができました。毎年行われているフッ素塗布やTBIはもちろん、今年はRDテストも行われ、多くの方に体験してもらうことができました。普段なかなかできないことなのでとても好評でした。少しでも多くの方々のお役に立てるようにこれからも日々頑張りたいと思います。

（川越歯科衛生士会　上條　紀子　記）

# 川越歯科技工士会

6月5日（日）12時ついに待ちに待った、歯ッピーフェスティバルの開場だ！

私たち川越技工士会は、例年通り「石こう人形の色ぬり」と「指の型どり」を担当しました。

「指の型どりコーナー」は、去年から手型、足型どりを、試験的に導入していますが、これがスタッフや来場者さんから大好評で「私の子供にも手型を採ってー！」と言われましたが、現実的に、指の型どりの4～5倍、労力がいるので大きなお子様は、残念ながらお断りしました。来年からは混乱がおきないように、明確に年齢か手足の大きさで判断したいと思います。

（指の型どり160名、手型、足型どり10名ぐらい）

「石こう人形の色ぬりコーナー」は、保健推進員さんに担当して頂きました。ベテランぞろいなので、子供達や来場者との対応も「推進員さんに任せておけば、大丈夫！」そんな安心感がありました。

来年はトキモちゃんとの写真撮影会を行いたいと思っています。トキモちゃんよろしくね。（暑いのにごめんね！）

（川越歯科技工士会　黒津　博俊　記）

## 保健推進員協議会

いつも歯ッピーフェスティバルに参加させていただきありがとうございます。

前回までは保健推進員のみどりのジャンパーを着用していたのですが、今回は腕章にしたおかげでご来場の方々に爽やかな印象？！をもって頂けたのではないかと思っています。

各コーナーにお手伝いさせていただいた保健推進員も腕章をすることで、アピール出来たと思います。

さて今回も、例年通り保健推進員コーナーで活動紹介として展示による発表、それをまとめた配布物をお渡しする事ができました。

また、音楽に合わせて健口体操を実施させていただき早口言葉等々、ご来場の方々の健康づくりに役立てることが出来ました。

昨年から「新聞紙で作ったエコバック」に配布した資料を入れて頂き、皆様からも好評でした。

これからも保健推進員は市民の皆さまの健康と笑顔のお手伝いをしてきたいと思います。

（会長　新井　裕子　記）

## 「ハッピーフェスティバルに参加して」
## 地域活動栄養士　ＰＦＣの会

このフェスティバルに参加して何年になるでしょうか、来場者の方の「歯科予防」に対する関心が年々増していることを感じます。

「歯」が人間の体で大切な役割をしていることを、「食べ物」の大切さと合わせて、子供たちに理解をしてほしいと願って、エプロンシアター等媒体を使い、楽しく実施しています。子供たちの、真剣でかわいい笑顔や楽しそうな声を聞いたり見たりしていると、とてもうれしくわたくし達も元気になります。

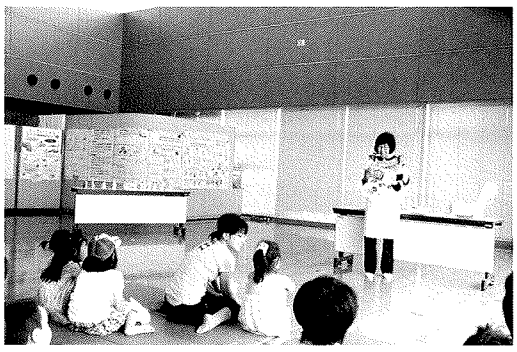
展示等を通じ、保護者の皆様には色々の質問をいただくことがあり、「食物」ということにも関心を示していただいていることがわかります。

「歯」や「食べ物」また「栄養」の共通の話題ができ、親子、ご家族でお食事の時には会話が弾むのではないかと期待をしています。

今後も、このようなイベントを通して、益々市民の皆様の健康増進にお役に立てるように、努力して行きたいと思っております。

ありがとうございました。

（地域活動栄養士 PFCの会　水谷　光子　記）



## キャロぱん試食と展示
## 川越市食生活改善推進員協議会

「東日本大震災」は大津波による未曾有の被害と原発事故等かつて経験したことのない災害をもたらしました。被災されました皆様に心より、お見舞申し上げます。川越市でも色々なイベントが中止になる中、歯ッピーフェスティバルは開催され、市民の皆様にも元気を取りもどしていただけたと思います。

今年は若い父親の姿が多くみられ、家族そろって試食をして下さいました。毎年元気な姿で楽しみにして試食してくださるご年輩の方に、また来年も喜こんでいただけるよう頑張りたいと思います。

展示は歯について「食生活のポイント」、「バランスのとれたむし歯予防」「生涯のお口の健康づくりは子どもから」「五感ってなあに？」等を取り上げました。沢山の親子連れが立ちどまり質問を受ける等、歯に対する関心の多さを感じました。

（会長　米原　民子　記）

## はっぴーやまぶき21

お天気も雨に降られず、危惧されていた地震も起こらず歯ッピーフェスティバルが無事に終わることが出来とても良かったと思います。

歯の事は、何となく二の次になってしまいますが、歯は健康な身体を維持していく為にとても大切な事だと思います。歯ッピーフェスティバルも回を重ね少しずつ浸透して来ていることと思います。

これからも、歯科医師会、川越市、他皆様のお知恵と活動力で市民に尚一層の歯の大切さを知ってもらえる事をお祈りいたします。

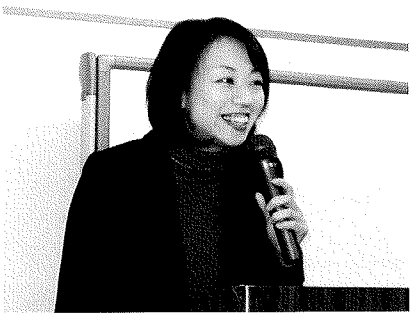
（やまぶき21）

# 定例会だより

## 2月　【患者さんのために優しい聴き方・話し方】

心理カウンセラー、アートセラピスト、文部省認定ファッションカラーコーディネーター

中垣　俊子 先生



先日の２月19日に行った公衆衛生委員会担当の学術講演会は心理カウンセラー、アートセラピスト、文部省認定ファッションカラーコーディネーターである中垣俊子先生に、患者さんのために優しい聴き方・話し方という演題で講演していただきました。

とても楽しい内容で女性と男性の考え方の違いやそれに対する対応のコツや方法を、また相手の立場に立った話の進め方をする方法や物事を進めるための勇気づけのお話しをしていただきました。

これからの診療に役に立つ内容になったのではないでしょうか。

まとめは岩田夏彦先生よりご提供いただきました。

（井上　和也　記）

### 患者さんとのラポール形成（初診時）

- 権力者(Dr)　⇔　弱い立場(Kr)
  ↓
- 笑顔が大切　＝　ミラーリング効果
  （自分が笑顔だと相手も笑顔）
- マスクをはずす

### 患者さんとのポジショニング

1. 腕組み、足組みは相手を拒むシグナル
2. DrとKrの位置関係は視線が90度の位置（視線がほどよく交差してたまに目で合図できる位置　一番リラックスできる
3. 居酒屋で人（異性）と仲良くなるには、角の席でお互い90度になる位置がベスト

### 患者さんとの会話

1.「少し」「ちょっと」「ときどき」 ectの弱めの言葉を使うと
↓
YESと言いやすい
患者さんも本心で話やすい

### 男性と女性の会話の特徴（仲良くなるために）

1. 男性
   - 利益のある情報を提供するとOK
2. 女性
   - 共通の情報を提供するとOK
   - つまりは私も同じなのよという情報

## 相手の話の確認の仕方

- 1．自分の言葉で確認しない
  ～しか　～してしまう　～ばかり
  という言葉は使わない
- 例1　ブラッシング朝しかされないのですか？　右側ばかり磨いていますね
- →朝の習慣づけができていらっしゃいますので、昼のブラッシングも口臭予防でいかがですか？ →はい（オープンドQ）

## 傾聴の例

- 1．右下の奥歯からかなり血がでるんですよ → それは心配ですね～
- 2．左上の歯がなくて噛めないんだよ→ それは不便ですね～
- 3．歯をころんでテーブルにぶつけてしまったんだよ → それは痛かったですね

## 相手に対して行動を促す場合

- 1．「こうしてもらえますか？」とか、相手に返事をもらうようにすることが大切
- 2．「やっていただけますか？」というと、相手が判断して答えるので相手に実践してもらえる率が上がる

※ 患者さんの健康教育に重要です

- 患者さんにも～してもらえますか？と相手に返事を頂くこと。→相手の判断・責任を促す

## 相手に嫌なことをいうと

- 余計に嫌なことが増える

例1 「勉強しろ」「また今日も、てんやものかよ」は逆効果　10日はてんやもの覚悟

例2 「手作りのさつま揚げ最高だね。生姜とからむね～」 →いい例

## 相手の話の聞き方（傾聴）

- 相手の気持ち　や　思いを代弁してあげる
  ↓　　↓
- 不安　　困っている
- 心配　　不便な
- 残念　　面倒だね
- 楽しみ

## 傾聴のポイント（重要）

- 1．傾聴は、相手を落ちつかせる効果があるので「心配ですね」というと、ホッとして相手が話し出すのできちんと聞いてあげる。
- 2．傾聴して、十分相手のお話を聞いてから「大丈夫」と言って安心をさせてあげる。「大丈夫」は最後に
- 3．すべて、相手が主語となるようにこちらの言葉がけをする。

## 勇気づけをするには（勇気を持つには）

- 1．希望が必要
- やればこうなるよということー長続きするー
- しないとこうなるよ　ー長続きしないー

- 2．些細なことに注目して、そのことに適切な言葉をかけてあげると勇気がでる（やる気がでる）
- 例：口の中がきれいになっていますね（それ以上余計なことは言わない）キャンセルなくいらしてますよ（事実のみで褒めない）→人は褒められることより認められるのが非常にうれしい。
- 事実を言葉にするだけでいい。余計な形容詞（すばらしい・すごい）は言う必要はない

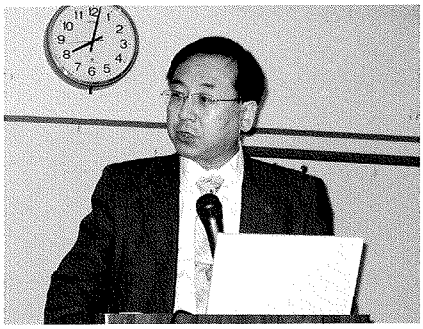
## 歯ブラシを通してのスキンシップ

- 「あ、起きたね。歯磨いてるね。」と事実を言っているだけだOK
  ↓
- 相手は見ててくれているんだと思って関係もよくなる。自然なのが一番。

終わり

## 6月　『口腔粘膜疾患－口腔癌との鑑別を中心として－』

明海大学歯学部病態診断治療学講座口腔顎顔面外科第２分野教授　**坂下　英明 先生**



平成23年度第１回定例会では、明海大学の坂下教授にご講演いただきました。

今回は口腔粘膜疾患のうち、特に口腔癌に焦点を当てていただいた内容となりました。

最初にお話いただいたのは早期癌や前癌病変でした。実際の症例の写真を拝見すると、なかなか見分けがつきにくいものが多く、日常臨床において口腔内を注意深く観察する必要性を再認識しました。次にお話いただいたのは、口内炎や歯周疾患や根尖病巣等として治療されていた癌で、エックス線像の読影や病巣部の形態の把握の大切さを実感しました。

次は、口腔粘膜の感染性疾患です。早期癌や前癌病変の症例写真を見た後にこれらの粘膜疾患を見ると、境界領域の明瞭さや潰瘍の状態で癌とは違うというのは分かります。しかし、日々の診療の中でこのような粘膜疾患と遭遇したら、癌とそうでない粘膜疾患との見分けをつけるのはとても難しそうに思えました。さらに口腔の皮膚粘膜疾患でお話いただいた類天疱瘡と天疱瘡は、自分で鑑別するのは難しそうでした。白板症と紅板症での癌化の危険性も改めて認識することができました。

また、その他の口腔粘膜に発症する疾患でお話いただいた、「口の中で黒いものを見たときは要注意」というお言葉が印象的でした。

最後に口腔内の悪性腫瘍のさまざまな写真を拝見しましたが、「潰瘍形成と堤防状隆起」「境界不明瞭」ということを頭では理解していても、なかなか判りにくいような気がしました。また、多発性癌の歯肉部の腫脹の様子と、薬剤による歯肉炎はまったく鑑別がつかないと思いました。

今回の講演では、症例写真をたくさん拝見することができました。これは私にとって非常に貴重で大切な経験となりました。いざというときのために口腔粘膜疾患に見慣れておくことが重要であると思いました。

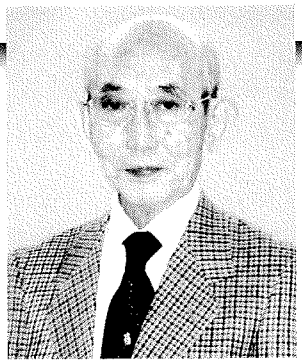
今後の診療では、坂下先生が言っておられた「触ってみよう診てみよう」を実践してみようと思います。

（齋藤　正史　記）

## 表　彰　コ　ー　ナ　ー

歯科保健功労
日本学校歯科医会長表彰
**吉村　奎一郎 先生**
H23. 3. 16

公衆衛生事業功労
埼玉県知事表彰
**岩崎　孝之 先生**
H22. 11. 19



# 田中　喬先生のご逝去を悼む

親愛なる田中先生の御精霊に対し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

生者必滅はこの世の習いとは云いながら，嘗ては川越歯科医師会の副会長として元気にご活躍しておられた先生が、薬石効なく長逝されました事は、ご遺族のお悲しみもさることながら、私どももこの世の無常を痛切に感ぜざるを得ません。

昨年暮れ、私が駅へ行く途中先生宅の前でお会いして、短い時間でしたが会話を交えたのが最後になってしまいました。

先生とは年代が近く、若い頃から親交が有り、特に富士に山荘をお互いが持っていた関係上、先生の山荘を訪問したり、又訪問をされたり、仕事を離れて富士高原で楽しい一刻を過ごしたものでした。

私が歯科医師会の会長当時、専務理事だった先生と、副会長の岩田先生の三人で、よく飲みに行ったり、会の相談事や、行事に没頭したり、今から思うと遠い昔の出来事ですが、先生には色々お世話になった事が、昨日の事のように思い出されます。

其の先生とも、もう再びお会いする事は出来ませんが、何卒御霊よ永久に安かれと念じつつ、これにてお別れの言葉とさせて頂きます。　合掌

（岩崎　昌司　記）

# 弔　　辞

田中喬先生のご逝去をいたみ、ここに謹んで哀悼の意を表するとともに、衷心よりお悔やみ申しあげます。お元気だと思っていましたが急の悲報にただ茫然とするばかりでした。

田中喬先生は川越市歯科医師会専務理事、副会長、監事、埼玉県歯科医師教育部副部長、国保審査委員、校医等を歴任され歯科会の発展のため貢献された業績は敬服に値し私どもといたしましても範とするところでございます。

生前田中喬先生は若輩の私にも気さくに声をかけていただきいろいろお話をさせて致しました、私の父のことも「お父さん元気にしてる？」と気にかけてもらいありがたく思いました、今後もご指導にあずかりたいと願っておりましたのに他界され哀惜の念に打たれるばかりです、惜別の情抑えがたく無念この上なく存じますが、田中喬先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

（川越市歯科医師会会長　岩崎　孝之　記）

# H23.2/3開催『高齢者歯科研修会』のご報告（ポイント）
## ―川越市健康づくり支援課と合同での研修会―

平成23年2月3日（木）に狭山市大生病院におきまして、川越市・川越市歯科医師会・衛生士会・狭山市歯科医師会の合同研修会を開催（参加者41名、うち川越市歯科医師会16名）いたしました。

2部構成で

講演1　「高齢者の歯科診療におけるポイント」
大生病院　歯科口腔外科部長
阪口英夫先生

講演2　「内科医の視点でみた歯科医療」
大生病院　院長
寶積（ほうしゃく）英彦先生

にご講演いただきました。放射線技師で司会をされました大畑克己先生には、大生病院のレントゲン設備についてとCT撮影の紹介の受け入れ等のご説明をいただきました。（CTは7000円）

撮影の依頼方法は別紙となります。（まずはTEL：04-2957-1141大生病院放射線科まで。別紙をFAXしていただいてください。）

昨今、地域連携、医療連携という言葉をよく聞きますが、狭山市歯科医師会と大生病院との連携は川越市歯科医師会の参考になりました。糖尿病患者・脳卒中患者・がん患者・妊産婦の皆様との医科歯科地域連携がこれからは益々望まれます。

**研修会の内容のポイント**

A　治療薬の紹介

1．口唇ヘルペスの治療薬　アラセナーA

2．単純疱疹の治療薬　成人はバラシクロビルとして
1回500mgを1日2回5日間経口投与

3．帯状疱疹の治療薬　成人はバラシクロビルとして
1回1000mgを1日3回7日間服用

4．ヘルペス性口内炎の治療薬　商品名バルトレックスR

阪口英夫先生

5．口腔カンジダ症の治療薬　ミコナゾールゲル
成人は200～400mgを1日4回塗布

B　内容に関して

1．口蓋の痰や舌の汚れは、口腔保湿剤を塗ってからスポンジブラシでとるとよい。

2．平成17年7月26日から、厚生労働省医政局の通達により、歯科医師及び歯科衛生士の指導のもと、重度の歯周病がない方に限り上記1などの口腔ケアや口腔内吸引（限定）は、介護職の皆様でもできることとなりました。
※モデル事業でも、痰の吸引は医師会・看護協会がまだ難色を示しているので、その他（唾液や汚物等）の吸引という解釈です。

3．認知症のおけるBPSDとは？
Behavioral and Psychological Symtoms of Dementia（認知症に伴う行動障害と精神症状）の総称
BPSDには積極的にアプローチし、軽減を図る事が望ましいと言われ、老化現象・心理的、社会的不安・疾患・認知機能の障害による精神的不安定、介護する側の不適切なケアや環境等が起因するとも言われています。性格や生活環境対人関係等により現れる内容や症状

寶積英彦先生

も異なります。

「BPSD」の特徴は認知症の中期（混乱期）に頻繁に出現、半年～１年で内容が変化しますが適切なケアにより数か月で治まる事もあります。「BPSD」にはその人に合った適切なケアと環境が大切です。

4．認知症の歯科治療は？

お口を診るのではなく、環境（家族やキーパースンを含む）にアプローチする。『環境は医療を超える』という阪口先生のお言葉は心に響きました。

5．バイアスピリンとワーファリン内服時の抜歯など観血処置

バイアスピリン（抗血小板剤）・・・内服投与下での施行が望ましい

ワーファリン（抗凝固剤）・・・ワーフォリンを原疾患に対する至適治療域にコントロールした上（INR値が2.5以下）で、内服継続下での施行が望ましい。

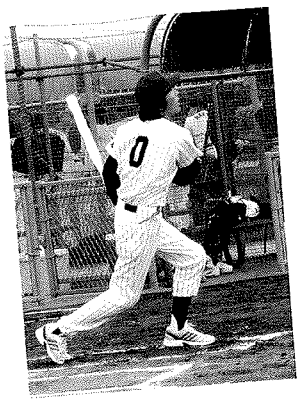
（岩田　夏彦　記）

# ワイルドギース　奮戦記

平成23年４月29日（祝）、Sリーグ春季大会が戸田道満ソフトボール場にて開催されました。

春の予選リーグは４チームによる総当たり戦のため３試合が行われました。初戦の相手は北足立。初回から川越の打線がつながり４点を先制。一回裏川越の先発ピッチャーは中野（文）先生。去年の秋、滅多打ちをされた苦い経験があり、しかも相手は強力打線の北足立ということもあり少々心配していたのですが、秘密特訓をしたのかこの日は見違えるようなピッチングを披露。打撃戦の末13－９で今季初勝利。第二試合は対川口。この試合も山下先生、沼田先生のバッティングが冴え、守っては中島先生、関口先生のファインプレーで

名手山下



スラッガー沼田